

令和7年度 高遠北小学校グランドデザイン

本校基本理念 「国の秀に 生れいでし学び舎 道はるかなり 直に歩まむ」

「秀」…高くすぐれた所

「生れいでし」…堂々と姿を現した

「直に」…一心不乱に

(S54.4 開校記念の碑の言葉)

県教育理念
『子どもの
内なる力を
伸ばす教育』

学校教育目標 『なかよし学校・がんばり学校』
～児童が、人とのつながりの中で「自立」していくことを願って～

上伊那の
教育理念
『はじめ
に子ども
ありき』

<本年度の重点>

1. 相手を思っていて関わります

2. 「自分」と「友と」で考えます

3. 励まし合って鍛えます

スローガン
やってみよう！
応援しよう・
してもらおう！

全校研究テーマ

自ら考え、友と学び合う子ども

3. 励まし合って鍛えます

【継続する力・表現力・思いやり・
協働の力など】

(1) 日常生活の学び

- 読書・読書活動の充実
- 運動に親しみ友だちと励まし合いながら体を鍛える～縄跳び、一輪車など
- チャレンジタイムの実施
- 安全・健康・命の教育の充実
- 『自分の命は自分で守る
みんなの命はみんなで守る』

(2) 行事での学び（行事に向けて）

- 体育的行事
運動会、マラソン大会など
- 音楽的行事、儀式での音楽
校内音楽会、6年生を送る会、1年生を迎える会、入学式、卒業式など
- *校外関連の行事
伊澤修二記念音楽祭、ご城下まつり、中部連合音楽会 など
- 学年行事の充実

2. 「自分」と「友と」で考えます

【主体的・対話的で深い学び】

(1) 確かな学力

- 教材（地域教材）の本質に迫る、単元構想・教材研究
- 自らの考えを持ち、友と関わり合って追究する場の設定、少人数を生かした授業形態の工夫
- ねらいに応じた学習場面の設定の工夫
- 合同授業の実践や、体験、発表、交流などの活動・学習

授業づくり（市の提言より）

- ① 子どもの思考が思わず動き出す課題
- ② 自然な対話が生まれる環境
- ③ 「自分が実際にやってみる」教材研究

(2) 日々の校内研修の活性化

- 一人一公開授業や校内研修で、互いの授業やノウハウを学び合う
- 教科会での教材研究や授業作り
- ICT教育、プログラミング学習の研修と推進
- 算数科を中心とした研修

(3) 家庭と共に

- 家庭学習の意義やあり方等についての情報発信

1. 相手を思っていて関わります

【児童会活動・交流活動・縦割り班の活動・人権教育】

(1) 児童会活動での学び

- 児童会からの積極的な提案を支援し、一緒に創造していく

児童会の目標（ねがい）

『うれしい学校・たのしい学校』

◇行事目標とその取組を柱に

- ・児童会集会、いいとこめがね、あそびの日、みやはらの祭りなど
- ・あいさつ、返事、礼儀、場に合った声量など

(2) 交流活動での学び

- 様々な人々や施設との体験・交流で、視野・価値観を広げていく
- ・三宅小、保育園、高遠小、長谷小、地域の方との交流等

(3) 縦割り班活動での学び

- 上級生の姿、言動に学ぶ
- ・自然で学ぶ日（全校飯盒炊さん）
- ・みやはらの活動（花壇づくり）
- ・通学班会

(4) 人権教育

- 自分から普段の生活を振り返りながら、成長できるような支援
- ・なかよし旬間・人権集会

○学校がつくる教育環境

- ・家庭、地域から信頼される学校（情報発信と共有を大切に）
 - ・資質向上に向け研鑽を積む職員
 - ・学校や郷土を愛し、自分の住む地域を語れる子どもを育む
 - ・小規模特認校としての学校運営
- ※「守り 育み 学び続ける」

○自然・歴史・地域から学ぶ〔生活・総合的な学習の時間を中心に〕

- ・学校園、学級園での栽培活動・ジオパーク・地域探訪、お宝探し
- ・様々な校外学習・歴史博物館、美術館、民俗資料館などへの訪問学習
- ・食育、花育、高遠そば、孤軍高遠城、ふるさと伊那谷学の推進など

○保護者、北小子どもを守る会・学校評議会、地域の方の理解と支援

- ・信州型コミュニティスクールの推進（地域を学ぶ日、環境整備など）
- ・学校行事、授業参観への招待、学校評価
- ・読書ボランティア（おはなしのもり）クラブ活動、放課後学習支援など